

旭川市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km²、人口は2024年4月1日時点で318,088人である。人口は2000年より減少に転じ、それに伴い市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。

そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

人口1人当たりの年間利用回数6.0回

令和6年度米飯線事業概要

米飯地区と東旭川駅周辺間を結ぶ米飯線において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。

地域公共交通の現況

- ・ 旭川中央交通 (株) デマンド米飯線
- ・ 旭川電気軌道 (株) 72系統
- ・ 道北バス (株) 58系統
- ・ JR北海道 (株) 4路線

協議会開催状況

令和5年4月28日

- 令和5年度 第1回旭川市地域公共交通会議
- －旭川市生活交通確保維持改善計画について

令和6年1月11日

- 令和5年度 第2回旭川市地域公共交通会議
- －デマンド交通米飯線の実績報告
- －北海道運輸局補助事業の事業評価

令和6年5月13日

- 令和6年度 第1回旭川市地域公共交通会議
- －旭川市地域公共交通計画の承認について
- －地域内フィーダー系統旭川市生活交通確保維持改善計画について

令和7年1月7日

- 令和6年度 第2回旭川市地域公共交通会議
- －北海道運輸局補助事業の事業評価

令和6年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・予約締切後、お迎え到着時間のコールバック
- ・運行車両位置情報お知らせアプリ
- ・冬の山道でも運行に支障がないよう主として4WD車使用(ジャンボタクシー・マイクロバス)

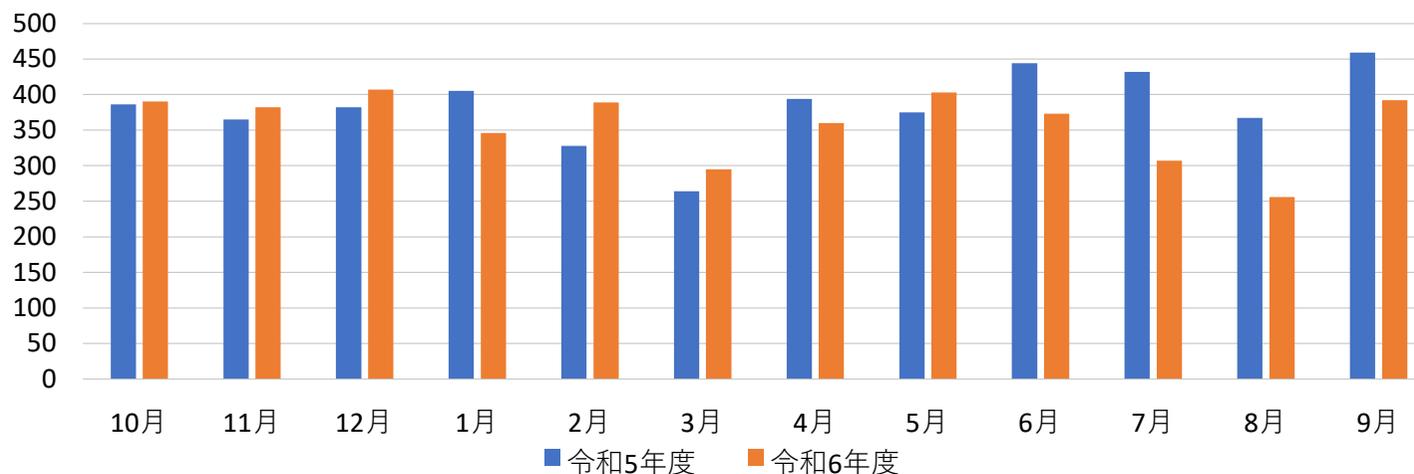
2) 運行系統

東旭川駅周辺施設～東旭川町瑞穂・米原・豊田・東桜岡～旭川21世紀の森



3) 利用実績

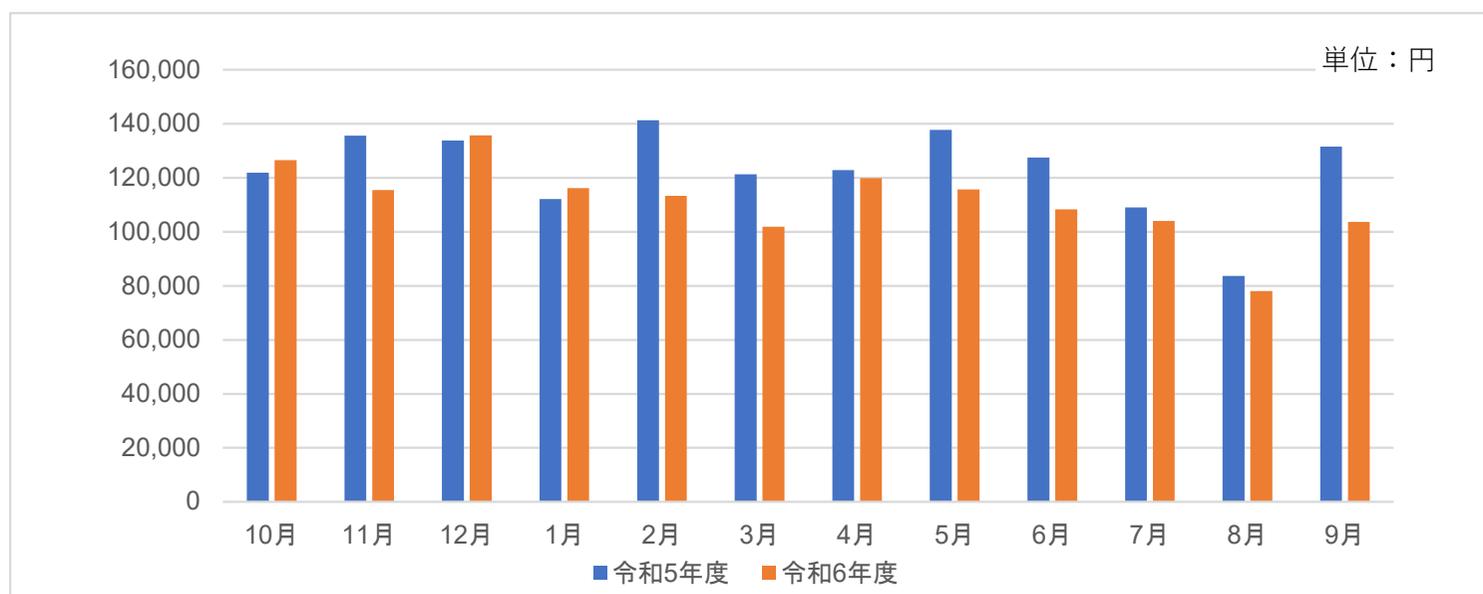
単位：人



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
令和5年度	386	365	382	405	328	264	394	375	444	432	367	459	4,601
令和6年度	390	382	407	346	389	295	360	403	373	307	256	392	4,300

4) 収入実績

単位：円



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
令和5年度	121,909	135,500	133,773	112,091	141,318	121,273	122,864	137,727	127,500	109,000	83,682	131,545	1,478,182
令和6年度	126,445	115,456	135,614	116,100	113,235	101,850	119,800	115,647	108,300	104,050	77,984	103,655	1,338,136

5) 事業実施の適切性

計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。

7) 事業の今後の改善点

意見交換会等の取組を通じて、集約された地域意見を基にニーズに合った運行となるよう検討を進める。

6) 目標・効果達成状況

人口1人当たりの年間利用回数実績は6.3回であり、計画に位置付けられた目標の6.0回を上回った。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・目標を上回っており、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。